

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	起債管理事務	会計名称	一般会計		担当課	総務課	
		予算科目	2 款 1 項 4 目	事業番号	130	所属長名	坪内 圭也
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	橘 かつら	
法令根拠等	地方自治法・地方財政法・伊予市財務会計規則				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	地方財政の状況が厳しさを増す中で、確実な歳入確保を行うため、健全な起債計画の執行を行う。						
事業の対象	市職員			事業の目的	地方交付税制度による通常収支不足額の補てん、または投資的事業の実施に伴う多額の財源確保のために地方債を発行する。		
事業の内容 (整備内容)	地方交付税制度による通常収支不足額を補てんする臨時財政対策債については、元利償還金が全額交付税措置を受けるため上限額を借り入れ、投資的事業の実施に伴う地方債については、交付税措置等を考慮し、有利で低利な地方債を発行する。また、後年の過重な負担とならないよう、健全な財政計画の下で限度額の設定を行い、記載管理システムにより適正管理を実施する。			評価事業としないこととした理由	専ら内部事務であるので評価対象外とする。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
直接事業費	487	466	0	0	0	465	地方債残高	千円	20670749	21960001	19914616	21739465
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0	地方債発行額	千円	3325200	2265800	0	2573900
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	487	466	0	0	0	465	地方債元金償還額	千円	1550450	1504441	756134	1505184
職員の人工 (にんく) 数	0.18	0.26				0.00						
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費+人件費	1,935	2,568				465						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		起債管理システム保守料 138千円 起債管理システム使用料 148千円							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計		
					500	500	500	500	500	2,500		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	厳しい財政状況における将来負担の軽減を図るため、縁故債については入札方式により、より低金利での起債を行った。また確実な償還と併せて、新規の借入の際には内容を充分精査するように務めた。現時点では合併特例債以外の償還が進んでいる一方、本庁舎建設等による借入も増加しており、今後その償還が始まることを考慮し、引き続き財政分析と情報収集に努めた上で適正な起債管理を行う。		
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由	専ら行政内部事務であるので、行政評価になじまないと判断する。

二次判定	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容
--------------------	-------

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	